

第1回 有田川（有田市内）を考える会 議事録(概要版)

日時：平成25年7月18日（木）10：00～12：00

場所：有田振興局 3階大会議室



1.開会

（事務局が議事進行）

2.議事内容

- ・有田川（有田市内）を考える会設立趣旨・規約の承認
- ・議事
 - 1)有田川水系河川整備計画（素案）について
 - 2)その他

3.審議内容及び決定事項

3.1 設立趣旨・規約の承認

有田川（有田市内）を考える会設立趣旨・規約について、事務局から説明を行い、委員の承認を得た。

3.2 有田川水系河川整備計画（素案）について

有田川河川整備基本方針及び有田川河川整備計画（素案）について、事務局から説明。説明に対する委員からの主な意見・質問は以下のとおり。

<主な意見・質問>

◆有田川の河道はかなり整備されてきているが、地下水の水位上昇が問題である。河口の土砂が堆積しているため地下水の水位が上がり、降雨時に箕島地区の低い箇所には水が浸かってしまうと考えている。上流ばかりではなく、受け皿である下流のことも考えて工事の計画を入れて頂きたい。(委員)

→宮原井堰より下流については洗掘傾向にあるが、部分的に堆積している箇所があり、維持管理の面で撤去が必要な部分があると考えている。(事務局)

◆二川ダムが出来ると後では川の状況の変化が大きく、川の中に泥が堆積している。ダム底に溜まっている泥を処理して頂きたい。(委員)

→元々、ダムには設置から今後 100 年くらいまでに発生する土砂等を蓄積するポケットを造っており、上流から入ってきた分を溜めている状況になっている。ポケットの余裕はまだだいぶあるので、現状では抜本的に何かするという事は考えていないが、上流のほうで堆積している土砂については出来る限り前もって撤去するように考えている。(事務局)

◆河口左岸の防波堤について、整備計画のメニューに入っていないが、今後 30 年間整備は行わないのか。(委員)

→地震津波対策については、現在、中央防災会議等の各方面において議論されており、その結果が出ないような対策をしていけばいいのかというのがはっきりしないため、整備区間について明記せず、今後必要に応じ最新の知見を反映し、柔軟に対応していくこととしている。(事務局)

◆基本方針と整備計画の設定の仕方がわかりにくいので教えていただきたい。また、今後のスケジュールについてはどうなっているのか。(委員)

→基本方針というのはこの川が将来どういう川だったらいいかという理想形を謳ったものであり、長期的な計画である。今作ろうとしている整備計画は、30 年間という限られた期間にどういった工事をしていくかとか、そういったことを謳っており、その中で実現できる今の目標が年超過確率 1/20 程度と考えている。

今後のスケジュールについては、少しでも早く整備計画を策定したいと考えており、早ければ年度内に国へ申請等できればと考えているが、他の手続きもあり、この時点ではっきりとは申し上げられない。(事務局)

◆上流でもこのような会は開催していくのか。また、森林整備は整備計画の中にどのように入れてもらえているのか。(委員)

→考える会は有田市と、有田市から上流という形で分けており、午後から有田川町で考える会を開く予定としている。

森林が持つ保水機能というのは重要と考えており、そのあたりの記載を含めて検討させていただきたい。(事務局)

◆水位観測所は二川ダム下流で 4 箇所あるが、それだけで警戒情報や各地域への発令へ結び付けられるという体制はできているのか。また、現在の不法係留船は有田川、内川周辺で計 101 隻あり、北箕島地区の整備だけで全て収容できるのか。(委員)

→水位観測所については、12 号台風の際にそのような要望があったので、宮原にも観測所を設置しており、栗生地区も洪水予報の対象にしている。また、二川ダムから放流する時点で警報活動と関係する市町、消防、警察機関に連絡の通知をする体制は整えている。

不法係留船対策については、北箕島地区に加えて初島漁港の中も整備を進めており、この 2 つを合わせて有田川、内川周辺の不法係留船を全て収容することができる。(事務局)

◆洪水調節施設は二川ダム以外にあるのか。また、宮原橋は架け替えしないのか。(委員)

→有田川の洪水調節施設は、現状では二川ダムのみである。宮原橋については、河川の改修という考えでは今回対象となっていないが、施設管理者が老朽化という面で、今後架け替えるということは考えられる。(事務局)

◆砂利採取を県のほうで認めてもらえないか。(委員)

→砂利採取は今年の4月から有田川、日高川、日置川、富田川、古座川、熊野川の6河川の県管理区間において、5年程度の期間を担保した上で一般採取を解禁している。(事務局)

◆6月11日から宮原と保田の2箇所において、リアルタイムで水位情報が見られるということで合っていますか。その情報は結構知らない人もいると思うので、有効な広報も充実してやってもらいたい。(委員)

→水位情報はインターネットで取得できる。また、テレビ和歌山のデータ放送で水位情報や気象情報を県から提供している。(事務局)

3.3 その他

◆できる限り会議は有田市内で開催してほしい。(委員)